



予選レポート

2013/4/13 Rd-1 鈴鹿サーキット

天候：晴れ/曇り 気温：16℃ 出走台数：19台

2013年開幕を迎えた鈴鹿サーキットは、この時期としては低い気温のコンディション。ドライバーとマシンに 極限状態の集中力とパフォーマンスを要求する 新生スーパーフォーミュラ初ポールをだれが奪取するのか、注目の予選が開始された。

ノックアウト第1予選、開始早々中古タイヤでコースインした2台だが、3月に行われた公式テストとは大きくコンディションが異なり、セットアップの調整を行う。残り6分でピットアウトした伊沢選手だが、アタックラップで黄旗提示区間があったため減速を余儀なくされ13番手、武藤選手はセットアップまとめきれず12番手で第2予選に進んだ。

つづく第2予選、伊沢選手は第3セクターでタイムロスするも5番手で第3予選にコマを進めた。一方 武藤選手は攻めすぎたか、デグナーカーブでコースアウトし13番手で予選を終えた。

そして迎えた第3予選、残り5分30秒 伊沢選手は先頭でコースインする。慎重にタイヤを温め、渾身のアタックラップへ。次々と区間タイムを更新し、2位に0.1秒近い差をつけ、スーパーフォーミュラ初のポールシッターとなった。

40：伊沢選手 ポールポジション（第1予選13位 第2予選5位 第3予選1位）
公式テストとも、朝のフリー走行とも、路面コンディションが変わっていて、微調整を繰り返しながら予選に臨みました。第1予選は黄旗のためにアタックできず、予選落ちしてしまうのではとドキドキしました。第2予選でもミスがあって全力で走れませんでした。第3予選のアタックに入った時、マシンセットはとてもよくて、そこからはマシンと自分を信じて走ることが出来ました。スーパーフォーミュラ初のポールポジションをとれたことは嬉しいですが、予選ポールはまだ通過点、明日の決勝もこの位置を守って、開幕優勝で終えたいです。

41：武藤選手 予選13位（第1予選12位 第2予選13位）
公式テスト結果をチームと共に検証し、フィジカルトレーニングも積んで臨む初陣です。フリー走行のフィーリングは悪くなく、ステップを踏んで着実に前進していると感じました。第2予選ではデグナーの飛込みで勢い余ってコースアウトしてしまい、予選を終えることとなってしまったのは反省点ですが、攻めた結果ですので。明日のレースは長いですから、ミスを少なく 着実に完走し、少なくともポイントを取るべく臨みます。